

ときひがの子



祝卒業 第73回卒業生6名のみなさんへ

6年生のみなさん、歴史と伝統ある常磐東小学校のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

「**35.1センチ**」とは何の数字かわかりますか？

みなさんのこの6年間の「身長伸びた平均値（1年4月～6年1月）」なのです。1日の伸びた長さは目に見えないほどわずかです。しかし、この6年間で両手を広げたぐらい大きく成長しているのです。身長だけではありません。足や手、頭の大きさだって大きく成長して、1年生の頃の服や靴下や手袋は、小さすぎてはめられません。体だけではなく心もたくましく、優しく、粘り強く成長しています。

私も皆さんと一緒にこの常磐東小学校に来て、一緒に卒業しますが、私と異なり、皆さんの成長は、めざましいものがあります。修学旅行や山の学習、運動会や学芸会、防災学習など、皆さんのがんばる姿、真剣に取り組む姿、そして、何よりすてきな笑顔をいっぱい見ることができました。本当にありがとうございます。

さて、今年も「うめちゃんのさと」には立派な**梅の花**が咲きました。そして今、「桜階段」の桜の木も花を咲かせようとしています。桜の木が梅の花を咲かせることはありません。**桜は桜の花を、梅は梅の花を**咲かせ、それぞれ自分の花を美しく咲かせます。

人も同じです。生まれながらそれぞれ異なっています。だれ一人として、同じ人はいません。考え方や夢や目標もみんな違っていています。人はみんな違っていいのです。他人と比較するのではなく、自分を信じて、伸ばしていくことが**自分の花を咲かせる**ということです。人は人、自分は自分なのです。自分の花を大きく咲かせて、友達や家族、さらに多くの人たちの心を明るく楽しくしていくような生き方ができるといいです。



形や大きさは違いますが、私たちはみんな「**□**」をもっています。この「**□**」をどのように使うかは皆さんが決めます。「ありがとう」「ごめんなさい」「いっしょにがんばろう」という言葉は、人の心を和ませたり、勇気づけたり、仲良くしたりできます。逆に「きらいだ」「だまれ」などの言葉は相手の心を傷つけます。手だって、足だって、どのように使うかは皆さんが決めることなのです。

そのためには、次の五つのことが大切です。

○**あいさつをしっかりと言いましょう。** あいさつは、自分づくりの出発点です

○**命を大切にしましょう。** 命を粗末にする人に、自分づくりはできません

○**運動や勉強等を本気で取り組みましょう。** 新たな力をもった自分に出会えます

○**笑顔を忘れないようにしましょう。** 苦しい時こそあきらめず、心に笑顔をもちましょう

○**思いやりの心で人に接しましょう。** 人の心を動かすのは、温かい真心です



みなさん、最も大切なことは、「**自分がどのように生きるか**」だと思います。世界に一つしかない「**命の花**」を大切に咲かせてください。みなさんの今後のご活躍を楽しみにしています。

石の贈り物

私からのささやかな贈り物です。

ストーンスタンド付メッセージボードです。

メッセージボードは、ホワイトボードになっていて、「連絡」「スケジュール」「写真の掲載」などに活用できます。ホワイトボード用マーカーも用意しました。

土台の石は、花崗岩です。この常磐東学区は、以前最も盛んな地場産業として栄えていました。それは、この地域が花崗岩地帯にあり、昔は岡崎の石屋町を中心にして全国的に知られた「みかげいし」の供給地でもありました。常磐東学区で産出される石材は「あらめ」と言われるもので、「雲母・石英・長石」の粒子が大きく、固くて良質な材質でした。そのため、産出量が急速に増加し、明治から昭和にかけて石切場が至る所に作られたそうです。



感謝：この記念の石は、米河内町で石屋をされています近藤進氏のご協力で完成しました。

ところで、この石には、5ミリの溝を2本彫り込んであります。そうすることで、写真や色紙、プレートを立てることができるようにしました。また、このストーンスタンドには「ありがとうは魔法のことば」と書いてあります。それに学校の校庭にある「もみじ」「いちょうの」葉っぱを添付しました。

人生は一度しかありません、自分しかできない人生をしっかりと歩んでください。時にはくじけそうになることもあるでしょうが、この石が皆さんに何か語りかけてくれるかもしれません。世界で一つしかないこの石が……。

